



西ノ島町観光協会

西ノ島町と修学旅行

今年も春の修学旅行生が西ノ島を訪れました。奈良県から1校(約180名)、大阪府からも1校(約80名)が訪れ、それぞれ2泊3日の行程で修学旅行が実施されました。どちらも西ノ島に初めて来島する学校で、ナイトクルージング、国賀観光、摩天崖トレッキング、魚釣り体験、するめ作り体験、貝細工体験、マリンスポーツなど西ノ島の大自然で一生の思い出作りをしました。また、最後に行われた紙テープの見送りが感動的でした。今回、修学旅行の受け入れにご協力下さいました島内関係者の皆様にはお礼申し上げます。

西ノ島町の修学旅行の受け入れは30年以上の歴史があり、主に関西方面からの受け入れが多く、詳細な記録が残っている平成以降では平成3年にピークを迎え、14校(3,769名)を受け入れた年もありましたが、年々減少に転じ、ここ10年では平均して4~5校(約450名~800名)の間で推移しています。

近年は少子化の影響から1校当たりの生徒数は年々減少していますが、自然体験と島民との触れ合いが体験できる隠岐・西ノ島の人気は根強く、平成30年5月末時点では平成32年度まで修学旅行の予約が入っています。その裏側で私たち観光協会では、会員の皆様より頂いた会費も利用しながら旅行会社や学校の訪問を行い、一般観光客以外にも修学旅行の誘致活動を行っています。

しかしながら、これまで継続して受け入れができたのは、美しい大自然と歴史ある文化を守ってきた西ノ島町民の努力と、受け入れを行う関係者の心遣いがあるからです。西ノ島町が修学旅行の受け入れ先として今後も生き残っていくために、これからも皆様のお力添えをお願い致します。



発見! 西ノ島の自然の魅力 Vol.29 『ホシミスジと植物のつながり』

梅雨の始まりのころ、海岸に近い林道ではモンシロチョウくらいの大きさの、黒と白のツートンカラーの蝶が目立ち始めます。そのチョウの名前は「ホシミスジ」。羽ばたきと滑空を交互に繰り返す飛び方で、森のやや低いところを移動します。ホシミスジは全国で見られるチョウですが、隠岐に生息するものは羽の模様には独自の特徴がある大変貴重なものです。

また、西ノ島でホシミスジがいるところには、必ずと言ってよいほど「ミツバイワガサ」という植物があります。それもそのはず、ホシミスジの幼虫はこの植物の仲間しか食べません。ミツバイワガサは5月上旬に島内の至る所で白い花を咲かせます。ミツバイワガサが豊富に生える西ノ島だからこそ、ホシミスジも多くいるのでしょう。ホシミスジが今後も飛び続けるためには、ミツバイワガサの存在がとても大切なのです。



▲ホシミスジ
(羽の付け根にある黒斑が名前の由来)

ウィスキーと海鮮の町 オーバン～ Oban ～



国際交流員
ウォン・チンイン・クレオ

海や山の恋しい季節となりました、皆さんいかがお過ごしでしょうか。
今月も引き続き、イギリスの話をしたしたいと思います。暑くなると、私は涼しいスコットランドの夏を思い出します。スコットランドと言えば、ウィスキー以外には海鮮も有名です！

今回はスコットランドにあるオーバンという町の話をしたしたいと思います。



オーバンという小さな町～ Oban ～

オーバンはイギリス北部のスコットランドにある町です。このスコットランドの西岸にある町は、首都のエディンバラ（東岸にある）から車でおよそ3時間かかります。オーバンまで行くのは結構時間はかかりますが、観光シーズンは大勢の観光客が訪れます！

昔は漁村でもあり、造船業の集落でもあって、観光地としては全然流行っていませんでしたが、1749年にオーバン蒸留酒製造所が創設されたあと、この小さな町の名前はだんだん知られるようになり、人口も増えてきました。今では観光地とヘブリディーズ諸島（スコットランド西岸に広がる島々の総称）への港になっています。



▲オーバン



オーバンで食べられる美味しい地元の海鮮～ Local seafood ～

オーバンと言えば、海鮮が有名です！オーバン駅から歩いて数分、地元産と近い海域で捕れた魚介類を安くいっぱい食べられる海鮮小屋があります！

ロブスター、カニ、ヨーロッパアカザエビやムール貝、マガキなどが揃っています。隠岐の岩ガキより小さいですが、スコットランド産（特にオーバン産）のマガキは味が濃くて、優しい潮風が吹いているようなイメージです。ヨーロッパアカザエビは薄いオレンジ色のエビで、体長は約25cmあります。このエビは甘さが控えめなので、茹でてから食べるのが一番おいしいと思います。



▲ヨーロッパアカザエビ



オーバンの蒸留酒製造所～ Oban Distillery ～

1749年に創設されたこの製造所は単式蒸留器が2台しかない小型の製造所ですが、269年もの歴史がありますので、スコットランドでは長い歴史をもつ製造所です。

オーバンのウィスキーはスコッチウィスキーのハイランドモルトウィスキーで、煙のような薫香とハニーやオレンジの香り以外に、製造所が海に近いので、潮風の香りもする独特な味がします。しかし、この小型の製造所の産量は少ないため、オーバンのウィスキーはほぼオーバンと近い町でしか売られていない気がします。